

## アリア

開け放たれた窓が風を招く  
僕はひとりだ  
陽光に包まれ、そして吐き気がする

生活は僕を押しつぶそうとする

この感情の慄えを解き放ち

さあ、秩序から立ち去ろう

だが、どこを歩いてゆけば  
わずかな記憶さえ残らず消え去り  
1日はただの1日となりうるのだろう  
生はただの生となりうるのだろう

誰が誰を愛しようと  
何者が何者を憎もうと  
ただそれだけの事実が生じては消え去る  
そんな大気となりうるのだろう

(1996.12.11)